

みんなで紡ぐファッションライブ -障害者アート展・コンサートをとおして-



実施者：特定非営利活動法人
織の音アート・福祉協会

社会や地域の課題

今回の事業を通じて、障害者アーティストたちが自身の能力や表現力を発揮し、社会に向けて積極的に発信する場を提供しました。また、震災という困難を乗り越える中で生まれた芸術の成果を発表し、被災地支援の重要性や復興の過程を伝える機会となりました。これにより、障害者の文化的・社会的な活躍の場の拡大と、災害を乗り越えた地域の力強さを共有し、多様な人々の共生を促進するきっかけを作ることができました。

取組概要及び成果

- ・障害者アーティストの作品を発表することで、社会に対し「障害＝制約」ではなく、「個性や表現の可能性」として捉える視点を広げる機会を提供しました。また、一般の観覧者や参加者とアーティストが直接交流できる場を設け、多様な価値観や創作のアプローチを共有することで、アートを通じた包括的な社会づくりに寄与しました。
- ・障害者アートと、日本の伝統文化である織や絹の技術を組み合わせた展示を実施し、文化的な側面からも障害者の活躍の場を広げました。障害の有無を問わず、参加者が日本の伝統文化に触れる機会を持つことで、地域文化の継承や新たな価値創造につながりました。
- ・震災という困難を乗り越えたアーティストたちが自身の作品を発表することで、被災地や被災者の声を広く社会に伝えることができました。また、コンサートでの支援金を被災地支援に充てることで、継続的な支援の輪を広げました。こうした取り組みを通じて、アートの力による復興支援の可能性を示し、共感を生むきっかけとなりました。本事業を通じ、多様性と包括性を尊重する社会づくり、障害者アートと伝統文化の融合、さらには支援の拡充という3つの課題に対し、具体的なアクションを起こすことができました。